

子どもに温かい町を目指して

たくさんの
寄附を
ありがとう
ございます！

東彼杵町ではこんなことに使っています。

チャイルドシートでそのぎっ子を守ります

平成14年から始まったチャイルドシート購入費補助金制度。6歳未満の子どもを有している親に対してチャイルドシート購入額の半分、上限2万円まで補助するというもの。1人につき申請することができる。東彼杵町に夫婦で住んで5年になる森雄人さん、亜加梨さんご夫妻。1歳3ヶ月となる娘の舞華ちゃんのために制度を利用した。「手続きがとても簡単でした。好きなチャイルドシートを買って、その領収書と説明書を持って役場に行くだけ。2022年に妻が退院した日に買って、それからほぼ毎日使っています」



公園の遊具が新しくなりました

今までいただいていた寄附を基金として積立て、それをういて大村湾へと注ぐ江の串川沿いにある「河川公園やすらぎの里」にインクルーシブ遊具を設置。これにより、2023年3月に「東彼杵みんなのクジラパーク」が誕生した。もともと梅や桜の名所で、ホテルの里としても多くの人を呼んでいた公園が、ますます東彼杵近郊のファミリーで賑わっている。



子どもたちに豊かな食育を

東彼杵の子どもたちに、地元の食を味わってもらい、学んでもらいたい。そんな想いで食育環境の向上に町をあげて取り組んでいる。2022年は、古くなって痛んだり黒ずんだ全児童の給食用食器3種類を新調した。そして、県内産の米、地産食材である和牛、くじら、かぼちゃ、アスパラガス、いちご、みかんなどの地産食材を農協から取り寄せて、旬の味覚を楽しんでもらう取り組みを続けている。



子育て世代の手厚いサポート

町内の年間出生数が約40名という東彼杵町。子どもに優しく、子どもの笑顔を増やすまちづくりのため、子育て世代に対して育児報奨金と出産祝い金という全国的にもあまりない取り組みで手厚くサポートする体制が整っている。「町内の子育て世代ほぼ全員の方が申請しています。最近では、移住してこられた人の割合も増えており、町の活性化につながっています」

働く保育士を増やし 応援します

令和元年から始まった、保育士確保のための宿舎借り上げ支援事業。保育所が地域宿舎(アパート等)を借り上げ、保育士資格を持つ採用5年以内の常任職員を住まわせる場合に、一戸あたり4万円を上限に借り上げた経費に対して補助するもの。「人口対策の一環で、保育士の方が働きやすい環境で町内に住んでいただくために取り組み始めました」

児童が元気に過ごせるように

小学生たちが元気に学校へ通うための事業に寄附金が使われている。コミュニティスクール推進事業では芝管理、登下校の運営委員、見守り活動、学校の美化清掃。千綿小学校への新しい遊具の設置。九州大会へと出場した子どもたちの経費を補助するスポーツ大会参加助成金など。



この町に住む 人々のために



動画で感じるひがしそのぎ

東彼杵町のことを、全国各地の人に知ってもらいたい。その目的で、東彼杵町紹介動画を制作した。2023年にYouTubeにて「長崎県東彼杵町-四季物語-癒しのヒーリング動画」と「Live in higashisonogi」の2本を公開中だ。まだ見ていない人は、ぜひ動画で東彼杵町の魅力を体験してほしい。

地域のコミュニティを活性化し 町民のまちづくりを支援する

自治会の発展と自ら考える地域コミュニティの促進向上、円滑な運営のために地域コミュニティ活動交付金が設けられている。「各自治会に裁量権を持たせ、独自で使えるようにしています。備品関係を買う自治会もありますね。また、個人や任意団体など町民による地域づくりのためにまちづくり支援交付金も設けています。」



高齢者の生活を守る

町内に住所を有する運転免許を持っていない(または失効した)高齢者の方たちの生活環境を改善するために始まった高齢者タクシー利用助成事業。年間1万円(辺地地区は1万5千円)のタクシー券が交付される。

「町から近い人は通院などで頻繁に使っていて、遠い場所の人は年に二、三回の特別な用事の時に使われる方が多いです。制度ができて嬉しいという高齢者の声が寄せられています」



町の環境をきれいに保つ

町内にゴミステーションを設置するなどの取り組みを行う環境保全事業。「ゴミステーションは、害獣対策のため鉄製に変えています。ほとんど設置は完了していますが、集積所が必要になった場合に要望があれば、その都度対応しています」



日本一のそのぎ茶を 全国に発信

品質で日本一を獲得しているそのぎ茶。さらに多くの消費者に味わってもらおうべく、現在のそのぎ茶の強みと課題を洗い出し、そのぎ茶のブランディングを行った。「みなさまからいただいた寄附金は、この取り組みにも使わせていただきました。県内外でのイベントや首都圏でのプロモーション、電車広告などでPRすることで、そのぎ茶の認知向上を図ることができました」

そのぎ発の名産物を 生み出すために

お茶だけではないそのぎの名産品。その品質を守り、さらなる高みを目指すための各取組

みに寄附金が導入されている。2022年は、長崎和牛になる種牛や子牛を育てている牛舎の補修、改修の資材費。そして、美味しいみかん作りのためのマルチ資材の導入に充てた。「マルチ資材を使うことで光を反射させ、実に光を当ててあげることで糖度をあげるようにしています。これにより、美味しく育ったみかんが全国のご家庭に届けられるんです」



町のインフラをきれいに整備

東彼杵町が管理している広域農道や各地道路、漁港などを定期的に補修するための費用にも寄附金が使われている。「広域農道の外側線など白線を引いたり、道路横の側溝を設置したり。一定の予算内で町の道路を安全、安心なものにするために取り組んでいます」



東彼杵の文化を残していく

東彼杵町に古くから伝わる伝統・文化を後世に継承していくために、文化財保存育成事業や人形芝居指導に寄附金が使われている。「県指定の無形文化財の保存継承に、1660年に佐賀県藤津郡岩井川内より同町坂本郷に伝えられた『坂本浮立』という藩を代表する民俗舞踊があります。また、無形民俗文化財としては千綿の人形芝居が挙げられ、現在の人形遣師は数人を数えるだけになっていますが、地元民はこの民俗芸能の維持復興に力を注いでいます」



東彼杵の 家族の一日

今回の家族の一日は
森さん4人家族

住んでみて、初めてわかるその土地の魅力。それは、各地で異なるだろう。さて、東彼杵町に暮らす森さん一家。生まれも育ちも東彼杵、そのぎっ子な家族の一日を追ってみた。



森家の朝は慌ただしい。お兄ちゃんは登校前の集合時間に間に合うように、お父さんは仕事の都合でいつもよりちょっと早く出発。



お母さんは東彼杵町の役場で働く。夢中になって仕事をしていると、あっという間に16時。娘を歯医者に連れて行く時間になってしまった。治療が終わったら近くのスーパーで買い物をして、学童まで息子のお迎え。忙しくて充実した日々を送っている。



庭で食べごろの野菜を子どもたちが「きゃっきゃっ」と言いながら収穫する。夕食後は父も手伝いながら宿題。一日を終えて家族の生き生きとした姿はとても眩しかった。



休日によく行く場所は、町内の公園「やすらぎの里」。季節ごとに綺麗な花が咲き、緑豊かな新鮮な空気が心地良い。浅瀬の川で子ども達は魚を眺めることに夢中になっていて、物知りのお父さんは生物のことをいろいろと話してくれた。最近は新しい遊具もできて、一日遊んでいることも。



お父さんは Sorrisoriso (ソリソリソ) でリモートワークをすることもある。「自然のなかでのリモートワークはクリエイティブなアイデアを生み出す助けになる」とのこと。効率よく仕事を終えて家族と過ごし、リフレッシュしてまた明日の仕事に取り組んでいる姿が印象的だった。



「娘の保育園では、園内でそのまま習い事ができる。町内の保育園や学校は、保護者の要望や、先進的なものを取り入れてくれている印象がある。」と森さんは言う。小学校では教育用タブレットが一人一台支給され、デジタルにも力を入れている。



おのうえ茶園の
返礼品は3ページ

表紙のヒト

栽培から製造まで自園・自製でお茶造りを行っているおのうえ茶園の代表を務める三代目、尾上和彦さん。碾茶工場「FORTHEES」メンバーの1人でもある。2022年に開かれた第76回全国茶品評会では200点満点の評価で1等1席の農林水産大臣賞を受賞。蒸し製玉緑茶部門で「そのぎ茶」の生産者が2年ぶりに日本一の奪還を果たした。当人の受賞は、2017年以来2回目となる。

東彼杵町ふるさとBOOK

太陽と水とみどり。

Produce 株式会社スチームシップ

Editors 東孔明

Design & Photo 小玉デザイン制作室 & 写真室
小玉大介

※本誌は、寄附金使途のご報告並びに特産品のご紹介をさせていただく目的で、株式会社スチームシップが東彼杵町より委託を受けて発送しております。東彼杵町と弊社において個人情報の取り扱いに関する契約を締結し適正に個人情報を取り扱っております。

※掲載情報は2023年10月現在のものです。お礼の品の内容、仕様、金額、申込・提供期間等は、予告なく変更される場合があります。※発送時期は天候等の理由により前後する場合があります。※印刷の都合上、実際のお礼の品とは色や質感等に若干の差が生じる場合があります。

2023年10月発行 [有効期限]2024年10月30日



東彼杵町役場

〒859-3808 長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1850-6

東彼杵町ふるさと納税サポート室(業務委託先 株式会社スチームシップ)

☎ 050-8885-0486

✉ sonogi@steamship.co.jp

本誌掲載の記事、写真、イラスト、図表等の無断複写(コピー)、複製、転載を固く禁じます。また、万一、落丁、乱丁がございましたら、上記までご連絡くださいますようお願いいたします。

受取停止 今後、発送(受取)停止をご希望の方は二次元コードよりお手続きをお願いします。



ふるさと納税 ポータルサイトからのお申し込み

ポータルサイトは、寄附申し込みから支払いまでインターネット上で完結できる便利なサービスです。また、ワンストップ特例制度を使えば確定申告も不要なので、簡単にふるさと納税制度を活用できます！

※ワンストップ特例制度は、申請条件がございます。詳しくは、総務省のHPにてご確認ください

ふるさと納税ポータルサイト



「楽天ふるさと納税」
<https://www.rakuten.co.jp/f423211-higashisonogi>

「ふるさとチョイス」
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/42321>



「ふるなび」
https://furuнави.jp/municipal_single.aspx?municipalid=1564

「ANAのふるさと納税」
<https://furusato.ana.co.jp/42321/>



申込書によるお申し込み

1. 東彼杵町のHPより申請書をダウンロードする

https://www.town.higashisonogi.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/furusato/694.html



2. 寄附上限額を確認します

収入や家族構成によって控除額が異なるのでお申し込み前にポータルサイト等で寄附の上限額を確認しましょう。

3. 本誌から返礼品を選びます

4. 寄附と返礼品を申し込みます

申込書に必要事項を記入し、FAXまたは郵送でお送りください。

【FAX】0956-37-8021

【郵送】〒859-3808 長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1850-6

東彼杵町役場 税財政課 財政管財係

注意事項 | 2023年の寄附申し込みをご希望の方は
2023年12月10日(日)必着にてお送りください。

5. ご入金ください

申込書到着後、郵便振替をご希望の方へ払込票を郵送いたします。窓口でお手続きをお願いします。

6. 寄附金控除のお手続きをしてください

寄附金受領証明書類等は、ご入金確認後返礼品とは別に郵送にてお届けします。

※2023年の寄附申し込みをご希望の方は、2023年12月31日までに入金を完了する必要があります。

プレゼント そのぎ茶 ティーバッグ

皆さまの
ご意見・ご感想を
お寄せください。



まるせい酒井製茶
15個入

東彼杵町ふるさとブック『太陽と水とみどり-vol.5』はいかがでしたか？下記二次元コードから、簡単なアンケートにご回答ください。ご記入いただいた内容につきましては、今後の東彼杵町のPRや、ふるさと納税の新たな返礼品提案等に役立ててまいります。



プレゼントキャンペーン

アンケートにご回答いただいたご希望の方の中から、抽選で30名様に“そのぎ茶ティーバッグ”をプレゼントいたします！プレゼントをご希望の方は、アンケートの「送り先情報」欄にて、情報をご記入ください。

※おひとり様につき1回までの応募とさせていただきます。
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

| 応募締切 | 2024年2月29日(木)23時59分